

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 100株

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) ☎0120-176-417
- (ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
大阪証券取引所市場第一部
- 公告方法 電子公告の方法により行います。  
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL  
<<http://www.ichinenhd.co.jp/>>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## 新製品紹介

### NX780 アイアンキャッチャー

#### 自動車ボディの鉄粉汚れ等のクリーナー



自動車の表面に付着した鉄粉を除去するクリーナーです。鉄粉が塗装面に刺ざると、洗車時などにさらに奥に入り込み鉄粉の錆から茶色のシミを発生させる原因となります。また、鉄粉は錆びると小さな茶色いシミを発生させ、ボディに定着してしまいます。鉄粉クリーナーで除去することで、愛車をいつまでも美しく守ります。

### NX521 バイオソープ2.5kg

#### 環境にやさしい生分解性ハンドソープ



手肌にやさしい中性タイプのハンドソープです。生分解性(\*)のスクラブ粒子が、指紋に深く入り込んだ頑固な油汚れを簡単に落とします。さらに「ヒアルロン酸」「コラーゲン」や「ローヤルゼリーエキス」の保湿成分が手をやさしくいたわります。詰替え用で、2kg・16kgも販売中。

※生分解性  
スクラブ粒子に配合されている生分解性プラスチックは、微生物によって水(H<sub>2</sub>O)と二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)等に分解され自然界に戻ります。



## 株式会社 イチネン ホールディングス

〈東証・大証1部コード:9619〉  
〒532-8567 大阪市淀川区西中島四丁目10番6号  
TEL. 06-6309-1800 (代表)

# ICHINEN HOLDINGS

IR  
REPORT

## 第49期 中間報告書

2010年4月1日から2010年9月30日まで

東証・大証1部 コード:9619

## For comfortable First Life

人と社会に、ここちよい安全・安心とやさしい環境を創る

イチネンの「1=First」は。

新しい時代の先進(一番に初めて)を拓くFirstであり、いつも最高級のサービスや製品をお届けするFirstです。人と社会に、ここちよい安全・安心とやさしい環境を。今までも。そして、これからも。

80th  
おかげさまで創業80周年

株式会社 イチネン ホールディングス

# To Our Shareholders

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当社グループに対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループは、本年、おかげさまで創業80周年を迎えることができました。これもひとえに株主のみなさまのご支援とご厚誼の賜物と深く感謝いたしております。

当中間期におけるわが国の経済は、急激な円高など依然として先行き不透明な情勢から脱し切れていないものの、新興国の成長などにより、リーマンショックに端を発した世界的な不況の影響から徐々に回復しつつあると思われまます。

このような中、当社グループにおきましては、当中間期の計画を達成することができ、通期では4年ぶりの増収と最高益の更新を目指しております。

創業80周年の記念すべき年を迎え、「第2創成期」として新たな飛躍を目指してまいります。当中間期の好調さを維持し、ステークホルダーのみなさまへのさらなる貢献のため、現状に慢心することなく、なおいっそう加速するべく新規事業の開発にも注力してまいります。

株主のみなさまには、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 黒田 雅史

## Interview with the President

# 現状の業績に満足せず、新規事業への参入などにより、さらなる飛躍を目指します。

### Q 当中間期の業績についてお聞かせください。

当中間期におきましては景気の低迷は継続しているものの、中国やインドなど新興国の成長や各国政府の景気対策などにより、回復基調を維持しています。当社グループにおきましても、おかげさまで対前年同期比で増収増益となり、売上高、営業利益とも計画を達成いたしました。さらに、当中間期の計画を上方修正するとともに、通期でも計画を達成できる見込みでございます。

### Q 各事業についての当中間期のご報告をお願いいたします。

各事業分野で通期目標達成に向けて邁進しております。加速度的な進展が見られる事業も多く、当社グループとして目標をクリアできる見通しでございます。

リース事業は7月にオートリース会社を子会社化したことで勢いを増し、順調に推移いたしております。大手企業を含むあらゆる車両需要先をターゲットにしたリース契約の増加に努め、9月末現在のリース契約台数は、対前期末比8.3%増の55,276台となっております。また、少子高齢化社会を迎えた現在、医療や介護業界への積極的なアプローチが実を結びつつあり、契約台数が対前期末比で120%に迫る数字に達しており、今後も成長を見込んでおります。

自動車メンテナンス受託事業は、大口取引先との契約も増加し、契約残高は前期末比で伸長しております。さらに、新規事業の車体修理管理サービスも7月以降は黒字化を果た



Masashi Kuroda  
代表取締役社長 黒田 雅史

しました。

燃料販売事業は、主力である自動車用燃料給油カードにおいて他社との差別化を図り、新規顧客獲得や販売数量の拡大に注力した結果、販売数量が対前年同期比18.0%増になっております。

ケミカル事業につきましては、主力製品の燃料添加剤の伸びは横ばいですが、炉床滑り剤が徐々に伸長し、今後が期

待できます。一方で、自動車整備工場向けや機械工具商向けといったプロユース化学品の需要が前年度末から回復し、当中間期も引き続き着実に伸びております。また、防水型携帯電話部品関連は、新機種への立ち上げ時期を下半期を迎えるため、通期では前年を上回る見通しでございます。メガネクリンビューは国内1万店舗への納入目標にあと一歩と迫っており、全国区での本格販売も順調に進んでおります。

パーキング事業は、7箇所の自社取得物件をはじめ、大阪府済生会富田林病院との新規契約など堅調に推移し、下期以降の売上拡大にも期待がもてます。今後も、中長期的に安定した収益基盤を築くため、駐車場個々の収益向上に努めてまいります。

**Q 今後に向けての事業方針や主な施策をご説明ください。**

「リース」「自動車メンテナンス受託」「燃料販売」「ケミカル」「パーキング」の5つの柱となる各事業が連結営業利益の10%以上のシェアを持つことを目標とした連邦制経営をさらに推進してまいります。また、業務効率の向上やコストダウンを図り、財務体質の強化を目指すとともに、数値目標としては、中期的に自己資本200億円超、営業利益40億円超、自己資本比率25%超の実現を目指してまいります。

また、中長期の視点で見た場合、2010年代半ばには既

存の事業だけでは、時代の要請に応えられないことも考えられます。当社グループでは今後30~50年先を見据えた新たな成長エンジンを育てることを目的に、本年4月にグループ事業開発部を新設いたしました。すでに、新規事業として「カーシェアリング事業」の実現に向けた動きを開始しております。今後も「環境」「安全」「安心」をキーワードとして、自動車関連だけにとらわれない幅広い分野での新規事業の開発を推進してまいります。

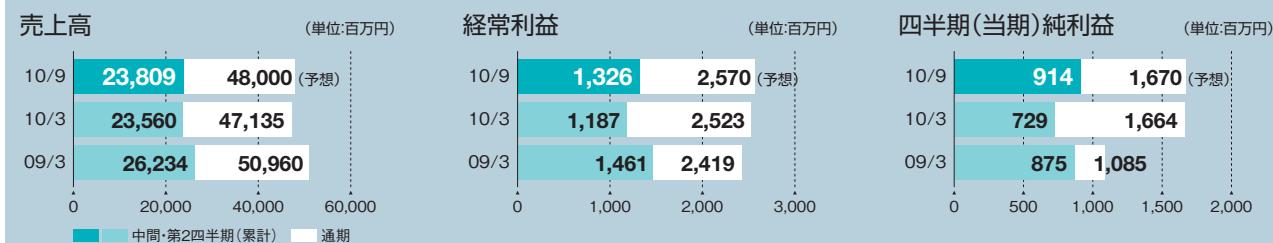
また、中国市場へのクリンビューの拡販や、パーキング事業の拡大なども積極的に行い、M&Aも活用しながら加速度的な経営を目指してまいります。

**Q 最後に、株主のみなさまへのメッセージをお願いします。**

おかげさまで当中間期は、売上高、営業利益ともに、当初の計画を上回ることができました。下半期も緊張感を持続させ、経営に専心してまいります。

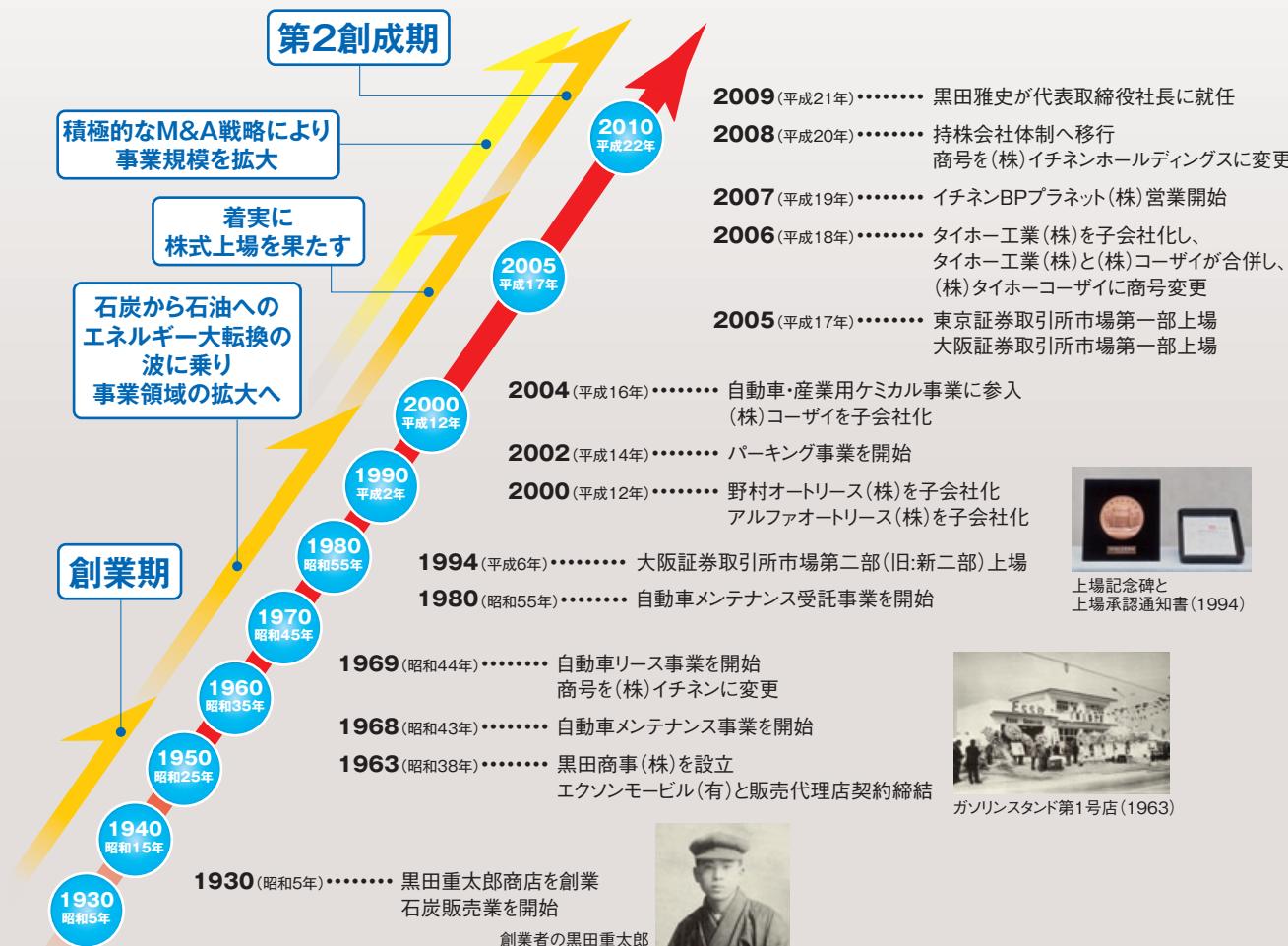
当社グループは、本年、創業80周年を迎えました。この時期を「第2創成期」としての新たなスタートと捉え、株主のみなさまに貢献できるよう、さらなる企業価値の向上に邁進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

**財務ハイライト**



**創業から80年。イチネンホールディングスの確かなあゆみ。**

1930(昭和5)年に、石炭販売業の黒田重太郎商店を創業。その後、1941(昭和16)年から1949(昭和24)年にかけての8年間は、石炭が戦時統制品となり休業しました。1949(昭和24)年に大阪地区で最初に石炭販売を再開し、同時に個人商店から株式会社組織に改めて「第一燃料株式会社」といたしました。この「第一燃料」の「一」と「燃」から「株式会社イチネン」といたしました。社名には「一番を目指す」「一念発起」「一年ずつ(毎年)着実に成長していく」という3つの願いが込められています。

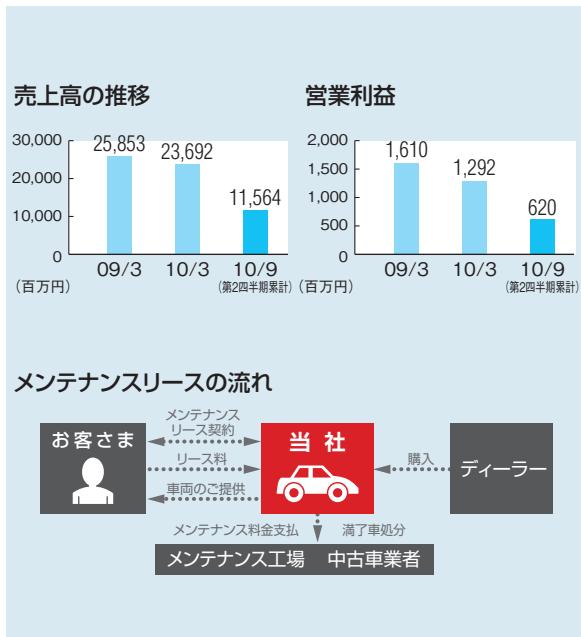


## リース事業

リース事業におきましては、中小規模の企業のみならず大手企業を含むあらゆる車両需要先企業をターゲットに投資効率を重視したリース契約の増加に努めるとともに、リース契約満了時における解約阻止に注力いたしました。

また、平成22年7月1日付で、約3,000台を保有するオートリース会社の全株式を取得して子会社いたしました。この結果、平成22年9月末現在リース契約台数は55,276台(対前期末比4,241台増)となりました。また、依然として、リース契約車両は小型化傾向にあります。エコカー減税による新車入替効果もあり、契約台数が順調に伸長した結果、リース契約高は108億18百万円(対前年同期比47.2%増)、リース未経過契約残高は435億94百万円(対前期末比7.9%増)となりました。

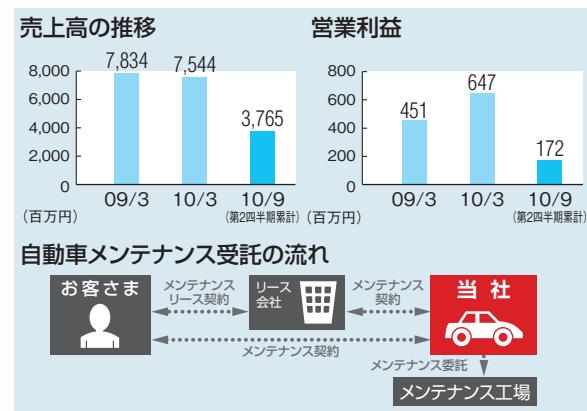
損益面では、低年式・走行過多車両の入替を促進しメンテナンスコストの削減に注力、採算販売の徹底により粗利益率の改善に取り組んでまいりました。また、リース契約満了後の車両処分については、引き続き円高やロシアの中古車輸入規制の影響を受けましたが、販売単価は順調に回復しております。しかしながら、リース契約車両の小型化、並びに再リース率上昇の影響は大きく、この結果、売上高は115億64百万円(対前年同期比3.9%減)、セグメント利益は6億20百万円(対前年同期比9.6%減)となりました。



## 自動車メンテナンス受託事業

自動車メンテナンス受託事業におきましては、当社独自の強みである高点検率、営業品質を追求しながら、契約台数、契約残高の増加に努めてまいりました。また、メンテナンスコストの増加要因となる低年式・走行過多車両の入替を促進しメンテナンスコストの抑制に注力し、不採算契約の改善並びに走行距離に応じた料金設定を行い収益向上に努めてまいりました。この結果、メンテナンス受託契約高は25億32百万円(対前年同期比9.0%増)、メンテナンス未経過契約残高は62億77百万円(対前期末比6.6%増)となりました。

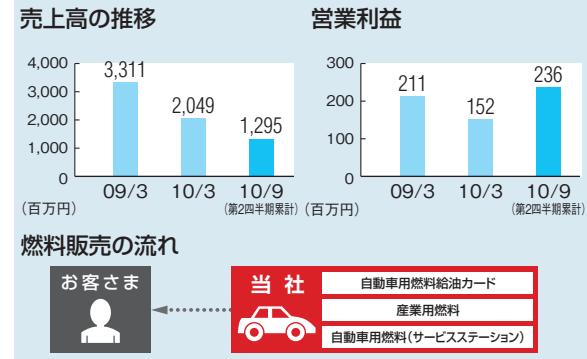
損益面では、引き続き、徹底した不採算取引の改善を行い、新規事業である板金事業においては、当第2四半期連結会計期間は黒字化に成功いたしました。前期の大口契約の解約等が影響し、売上高は37億65百万円(対前年同期比2.1%減)、セグメント利益は1億72百万円(対前年同期比45.5%減)となりました。



## 燃料販売事業

燃料販売事業におきましては、主力である自動車用燃料給油カードは、付加価値の高いサービスを顧客に提供し、他社との差別化を図ることにより、新規顧客獲得、並びに販売数量の拡大に注力いたしました。これらに加えて、猛暑によるガソリン消費量の拡大もあり、自動車用燃料給油カードによるガソリン等の販売数量は前年同期比18.0%増となりました。

損益面では、ガソリン市況が安定推移したことで、販売価格の調整が適時適切に実施できたこと、大口取引先との取引内容を大幅に改善することができたことにより、売上高は12億95百万円(対前年同期比43.9%増)、セグメント利益は2億36百万円(前年同期は16百万円の営業利益)となりました。

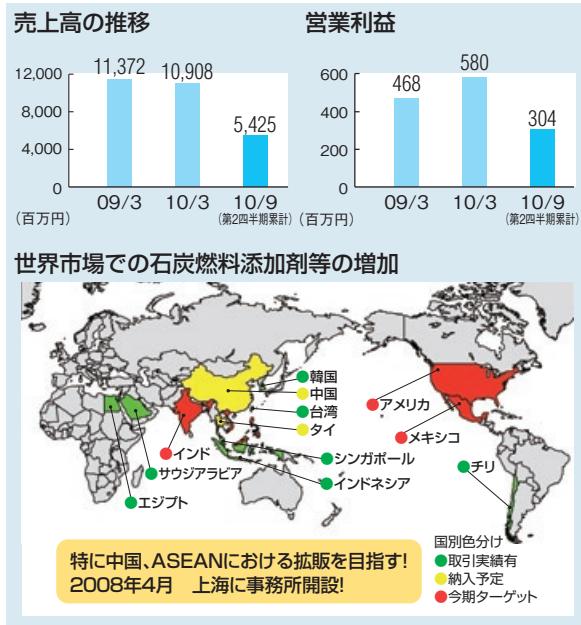


## ケミカル事業

ケミカル事業におきましては、工業薬品関連では、主力製品である燃料添加剤、石炭添加剤の販売数量は、前年同期比で、ほぼ横ばいでありましたが、前期に市場投入した炉床滑り剤が着実に販売数量を伸ばした結果、前年同期比で微増となりました。

また、化学品関連では、自動車整備工場向け化学品の販売数量は、前年同期比で、横ばいでありましたが、機械工具商向け化学品は、エコカー減税による自動車メーカーの操業回復等により需要が増加し、好調に推移いたしました。一方、防水型携帯電話部品関連では、新機種の高立上げに伴う量産納入が下半期に集中することから、前年同期比では販売数量が減少しましたが、通期では前年を上回る見通しであります。

この結果、売上高は54億25百万円(対前年同期比1.1%増)、セグメント利益は3億4百万円(対前年同期比15.5%増)となりました。

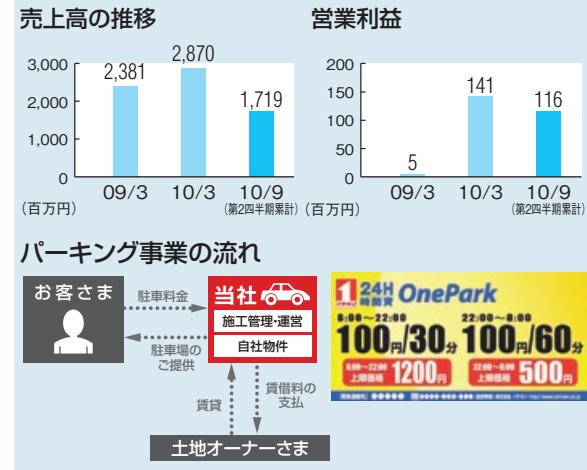


## パーキング事業

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、さらなる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善並びに撤退を行い、駐車場個々の収益向上に努めてまいりました。また、商業施設、病院等に付帯した駐車場にも積極的に取り組んでまいりました。この結果、平成22年9月末現在駐車場管理件数は569件(対前期末比2件減)、管理台数は14,181台(対前期末比6台減)となりました。

損益面では、既存駐車場の収益改善策として、周辺店舗への駐車チケットの販売、月極契約の募集や駐車料金の見直し等、売上拡大策を講じるとともに、土地賃借料の引下げ交渉によりコストの低減を図ってまいりました。また、自社取得物件(全7箇所)を含め、平成22年1月に同業他社より譲り受けた駐車場が加わったことにより、売上は伸長いたしました。

この結果、売上高は17億19百万円(対前年同期比30.8%増)、セグメント利益はパーキング運営の営業権の償却が平成21年9月末で終了したことにより、1億16百万円(前年同期は24百万円の営業利益)となりました。



## ● IR活動報告

2010  
7/2  
個人投資家向け会社説明会  
(日本証券アナリスト協会主催)

2010  
9/3・4  
「日経IRフェア2010」出展  
(場所:東京ビッグサイト)

## ● IR活動 下半期の予定

東京 2010 11/26  
東京 2010 12/16  
大阪 2011 3/下旬

## 個人投資家向け会社説明会 (野村IR主催)

## ▶ 成長戦略

## ケミカル事業 中国市場向けクリンビュー拡販



タイホーコーザイは8月、自動車窓ガラス用の曇り止め剤「クリンビュー」、スプレー式のタイヤクリーナー「ノータッチ」、ガラス撥水剤の「ガラスコート超撥水」など

カーケア用品5種を中国市場に投入しました。ドイツ系小売大手の「メトロ」や中国流通大手の「第一百貨」などで販売を始めました。

今回、中国へ投入した製品群はタイで生産された低コスト対応品の第一弾で、経済成長の続く中国の中間層から富裕層をターゲットとし、シェアの拡大を図ってまいります。

## パーキング事業 大阪府済生会富田林病院附帯の駐車場と新規契約

158台が収容できる大型駐車場との新規契約を果たし、9月27日より営業を開始いたしました。

病院附帯の駐車場管理事業へも積極的に取り組んでまいります。



## ▶ カーシェアリング事業に参入

1台のクルマを複数の人で共同利用するカーシェアリングは、これからの時代にフィットした移動手段として今注目されています。レンタカーに比べて短時間での利用が可能で、料金も経済的。必要などきだけ使用する、より無駄の少ないシステムです。また、予約から貸出までIT化されているので手続きも簡単。当社は「利便性地域No.1」のカーシェアリング事業の推進により、お客さまに満足を提供し、人と社会に貢献することを目指します。



## ● 四半期連結貸借対照表のポイント

(単位:百万円)

	前第2四半期末 2009年9月30日現在	当第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2010年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	34,121	33,249	30,272
固定資産	41,650	44,611	42,924
有形固定資産	30,339	33,122	31,323
無形固定資産	6,230	5,942	6,227
投資その他の資産	5,081	5,545	5,374
繰延資産	62	65	68
資産合計	75,834	77,925	73,266
【負債・純資産の部】			
流動負債	25,814	27,866	24,051
固定負債	36,534	34,542	34,197
負債合計	62,349	62,409	58,249
株主資本	13,488	15,584	14,997
評価・換算差額等	△12	△76	10
新株予約権	8	8	8
純資産合計	13,484	15,516	15,016
負債純資産合計	75,834	77,925	73,266

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 四半期連結損益計算書のポイント

(単位:百万円)

	前第2四半期 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	当第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	23,560	23,809	47,135
売上原価	17,759	17,852	35,596
売上総利益	5,800	5,957	11,539
販売費及び一般管理費	4,427	4,432	8,596
営業利益	1,373	1,524	2,943
経常利益	1,187	1,326	2,523
四半期(当期)純利益	729	914	1,664

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## POINT 1 ▶ [貸借対照表]

主力の自動車リース事業において、契約台数が順調に伸長した結果、「リース投資資産」並びに「賃貸資産」の大幅な増加につながりました。

また、自己資本比率は19.9%となりました。

## POINT 2 ▶ [損益計算書]

売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益の全てにおいて、対前年同期比増収増益決算となりました。営業利益、経常利益、四半期純利益の各増収要因は、以下の3点となります。

○主力のリース事業、自動車メンテナンス受託事業において、契約台数、契約残高が順調に伸長いたしました。

○リース契約満了後の車両売却益が堅調に推移いたしました。

○燃料販売事業において、新規顧客獲得により主力の自動車用燃料給油カードによるガソリン消費量が大幅に拡大したことに加えて、ガソリン市況が安定的に推移したことにより利ざやが改善いたしました。

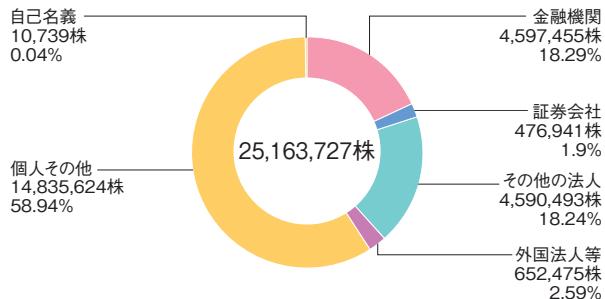
●株式の総数 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,163,727株
株主数	8,215名
大株主	

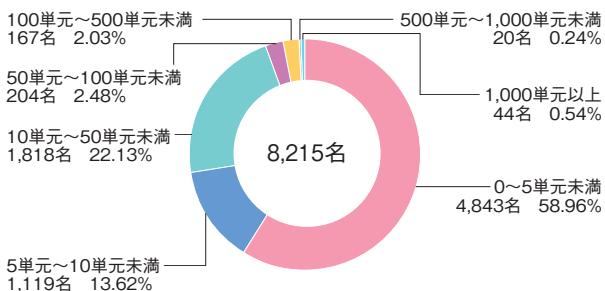
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
第一燃料株式会社	2,500,000	9.94
住友信託銀行株式会社	820,000	3.26
黒田 雅 史	819,000	3.26
黒田 和 伸	654,700	2.60
黒田 勝 彦	608,100	2.42
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	562,300	2.24
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	545,800	2.17
黒田 恭 年	486,016	1.93
黒田 倅 稔	472,000	1.88
黒田 哲 也	442,000	1.76

(注) 持株比率は自己株式(10,739株)を控除して計算しております。

●所有者別株式分布



●所有単元数別株主分布



株主優待情報

割当基準日/3月末日における持株数に対して右記の内容のおこめ券を進呈いたします。



持株数	内容
100株以上 500株未満	全国共通おこめ券 2kg
500株以上 2,000株未満	全国共通おこめ券 5kg
2,000株以上	全国共通おこめ券 10kg

●会社概要 (2010年9月30日現在)

商 号 株式会社イチネンホールディングス  
(ICHINEN HOLDINGS CO.,LTD.)  
U R L http://www.ichinenhd.co.jp/  
本店所在地 大阪市淀川区西中島四丁目10番6号  
創 業 1930年(昭和5年)6月1日  
会 社 設 立 1963年(昭和38年)5月7日  
資 本 金 2,529,135,586円  
従 業 員 数 連結 604名 単体 59名

●取締役及び監査役 (2010年9月30日現在)

代表取締役社長	黒田 雅史
取締役副社長	黒田 勝彦
取締役常務執行役員	三村 一雄
取締役	浅井 和良
取締役	影山 忠広
取締役	灰本 栄三
常勤監査役	奥田 純
常勤監査役	川上 弘伸
監査役	岸野 信雄
監査役	中 室 修 司

●グループ会社

株式会社イチネン  
株式会社タイホーコーザイ  
野村オートリース株式会社  
アルファオートリース株式会社  
株式会社イチネンパーキング  
イチネンBPプラネット株式会社  
株式会社セレクト  
株式会社リアルドパーキング  
株式会社ITL

ホームページのご案内

当社のホームページで最新情報を発信しております。ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.ichinenhd.co.jp/>

イチネンホールディングス

TOPページ



IRサイトの一部



中期経営計画

財務情報